

建環生第131号
令和8年7月1日

市民の皆様へ

山武市長 小野崎 正喜
(公印省略)

首都圏CCS事業者が発行する情報誌「うみとみらい通信第1号」
の情報提供について

国では、2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、千葉県内房地帯で、主に鉄鋼業等の重工業で生じる二酸化炭素をパイプラインで輸送し、九十九里沖の地中に貯留する首都圏CCS事業の事業化可否を検討しています。

現時点での進捗は、令和8年7月から、事前調査として九十九里沖海底の試掘調査が開始されるところです。

このたび、国より試掘調査の委託を受けた事業者において、試掘海域に隣接する市町の皆様への情報誌として「うみとみらい通信第1号」が発行され、提供を受けました。

市では、市民の皆様いち早く情報提供を行う必要があると考え、この情報誌を配布することとしました。

今後も、事業者による情報誌の発行が予定されているとのことですので、随時、市民の皆様へ情報発信してまいります。

○「CCS」について

- ・「CCS」とは、「Carbon dioxide Capture and Storage」の略で、日本語では「二酸化炭素回収・貯留」技術と呼ばれます。
- ・鉄鋼業や化学工場、発電所等から排出された二酸化炭素を他の気体から分離して集め、パイプラインや船舶で輸送し地中深くに貯留する技術で、大気への二酸化炭素排出削減が可能です。
- ・日本では、北海道苫小牧でCCSの実証実験が実施され、2016-2019年に二酸化炭素を貯留しました。

○市所管部署

建設環境部 環境保全課

電話：0475-80-1161、Mail：kankyohozen@city.sammulg.jp

■■■ 首都圏CCS事業に関する問合せ先 ■■■
首都圏CCS株式会社 社会共生ユニット
Mail：metroccs.inquiry@inpex.co.jp